

(様式 1-3)

岩沼市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	6	事業名	二野倉排水路整備事業		事業番号	D-21-1
交付団体	市		事業実施主体 (直接/間接)		岩沼市 (直接)	
総交付対象事業費	2,879,000 (千円)		全体事業費		4,440,000 (千円)	
事業概要						
<p>この事業は、岩沼市震災復興計画における 7 つのリーディングプロジェクトの一つである「津波からの安全なまちづくり」に位置付けられており、当該事業では、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○地震に伴う地盤沈下により、既存の都市排水機能が損なわれたこと</li><li>○甚大な被害を受けた沿岸集落の集団移転に伴い、新たな市街地を形成されることから、これらの市街地の排水を行うため、排水路の整備を行う。</li></ul> <p>&lt;全体事業費増額の理由・内訳&gt;</p> <p>資材物価・人件費の高騰 (約 425 百万円)、仮設工法変更の必要性 (約 720 百万円)、消費税増税の影響 (約 121 百万円) 計 1,266 百万円</p> <p>排水路整備延長 L=2,700m</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>						
当面の事業概要						
<p>&lt;平成 24 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・施設計画を策定し必要な土質調査や実施設計を行う。</li></ul> <p>&lt;平成 25 年度～平成 27 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・工事を実施。</li></ul>						
東日本大震災の被害との関係						
<p>震災による地盤沈下及び排水機場の機能喪失等に伴う浸水被害の拡大並びに集団移転に伴う新たな市街地の形成に対しては、復旧事業による原形復旧だけでは、十分な排水機能の確保がなされないため、新たな幹線排水路の整備を行うもの。</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>						
関連する災害復旧事業の概要						
被災を受けた河川 (五間堀川、貞山堀川)、ポンプ場 (藤曾根排水機場) 及び各幹線排水路の復旧事業						

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

岩沼市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	7	事業名	二野倉排水機場新設整備事業	事業番号	D-21-2
交付団体	市	事業実施主体 (直接/間接)	岩沼市 (直接)		
総交付対象事業費	3,132,000 (千円)	全体事業費	4,854,000 (千円)		
事業概要					
<p>この事業は、岩沼市震災復興計画における 7 つのリーディングプロジェクトの一つである「津波からの安全なまちづくり」に位置付けられており、当該事業では、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○地震に伴う地盤沈下により、既存の都市排水機能が損なわれたこと</li><li>○甚大な被害を受けた沿岸集落の集団移転に伴い、新たな市街地を形成されることから、これらの市街地の排水を行うため、排水機場の新設整備を行う。</li></ul> <p>&lt;全体事業費増額の理由・内訳&gt; 資材物価・人件費の高騰 (約 187 百万円)、津波対策工事・仮設工法変更の必要性 (約 1,153 百万円)、消費税増税の影響 (約 132 百万円) 計 1,472 百万円</p> <p>排水機場新設整備 1 箇所</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					
<p>&lt;平成 24 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・現地調査測量のほか実施設計を行う。</li></ul> <p>&lt;平成 25 年度～平成 27 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・用地買収及び工事を実施。</li></ul>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>震災による地盤沈下及び排水機場の機能喪失等に伴う浸水被害の拡大並びに集団移転に伴う新たな市街地の形成に対しては、復旧事業による原形復旧だけでは、十分な排水機能の確保がなされないため、新たな排水機場の新設整備を行うもの。</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
被災を受けた河川 (五間堀川、貞山堀川)、ポンプ場 (藤曾根排水機場) 及び各幹線排水路の復旧事業					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

岩沼市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	8	事業名	二野倉 2 号排水路整備事業	事業番号	D-21-3
交付団体	市	事業実施主体 (直接/間接)	岩沼市 (直接)		
総交付対象事業費	225,000 (千円)	全体事業費	311,000 (千円)		
事業概要					
<p>この事業は、岩沼市震災復興計画における 7 つのリーディングプロジェクトの一つである「津波からの安全なまちづくり」に位置付けられており、当該事業では、地震に伴う地盤沈下により既存の工業団地の自然排水による排水機能が損なわれ、また、既存工場の大半が当該地での再建を検討していることから、新たな排水機場の整備に併せた排水路の整備を行う。</p> <p>&lt;全体事業費変更の理由・内訳&gt;</p> <p>資材物価・人件費の高騰 (約 39 百万円)、工事費削減 (約▲47 百万円)、消費税増税の影響 (約 7 百万円) 計▲1 百万円</p> <p>排水路整備延長 L=650m</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					
<p>&lt;平成 24 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・現地調査測量のほか実施設計を行う。</li></ul> <p>&lt;平成 25 年度～平成 27 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・工事を実施。</li></ul>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>震災による東部地区の地盤沈下に伴う浸水被害の拡大に対し、復旧事業での原形復旧だけでは十分な排水機能の確保がなされないため、新たな幹線排水路の整備を行うもの。</p> <p>【工業団地の被災状況】 全建物棟数：155 全壊：155</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
被災を受けた河川 (五間堀川、貞山堀川) の復旧事業					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式 1-3)

岩沼市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	9	事業名	二野倉 2 号排水機場新設整備事業	事業番号	D-21-4
交付団体	市	事業実施主体 (直接/間接)	岩沼市 (直接)		
総交付対象事業費	1,475,850 (千円)	全体事業費	1,973,850 (千円)		
事業概要					
<p>この事業は、岩沼市震災復興計画における 7 つのリーディングプロジェクトの一つである「津波からの安全なまちづくり」に位置付けられており、当該事業では、地震に伴う地盤沈下により、既存の工業団地の排水機能が損なわれ、また、既存工場の大半が当該地での再建を検討していることから、自然排水での排水が困難であるため、排水路整備に合せた排水機場新設整備を行う。</p> <p>&lt;全体事業費増額の理由・内訳&gt;</p> <p>資材物価・人件費の高騰 (約 96 百万円)、工事費削減 (▲約 534 百万円)、消費税増税の影響 (約 53 百万円) 計▲385 百万円</p> <p>排水機場新設整備 1 箇所</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					
<p>&lt;平成 24 年度&gt;</p> <p>・現地調査測量のほか実施設計を行う。</p> <p>&lt;平成 25 年度～平成 27 年度&gt;</p> <p>・用地買収及び工事を実施。</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>震災による東部地区の地盤沈下に伴う浸水被害の拡大に対し、復旧事業での原形復旧だけでは十分な排水機能の確保がなされないため、新たな排水機場の新設整備を行うもの。</p> <p>【工業団地の被災状況】 全建物棟数：155 全壊：155</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
被災を受けた河川 (五間堀川、貞山堀川) の復旧事業					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

岩沼市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	10	事業名	矢野目排水路整備事業		事業番号	D-21-5
交付団体		市	事業実施主体 (直接/間接)		岩沼市 (直接)	
総交付対象事業費		2,665,500 (千円)	全体事業費		4,003,000 (千円)	
事業概要						
<p>この事業は、岩沼市震災復興計画における 7 つのリーディングプロジェクトの一つである「津波からの安全なまちづくり」に位置付けられており、当該事業では、地震に伴う地盤沈下により既存の工業団地や集落の排水機能が損なわれ、また、既存工場の大半が当該地での再建を検討していることから、新たな排水機場の整備に併せた排水路新設整備を行う。</p> <p>&lt;全体事業費増額の理由・内訳&gt;</p> <p>資材物価・人件費の高騰 (約 309 百万円)、仮設工法変更の必要性 (約 398 百万円)、消費税増税の影響 (約 109 百万円) 計 816 百万円</p> <p>排水路整備延長 L=2,600m</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>						
当面の事業概要						
<p>&lt;平成 24 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・現地調査測量のほか、実施設計を行う。</li></ul> <p>&lt;平成 25 年度～平成 27 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・工事を実施。</li></ul>						
東日本大震災の被害との関係						
<p>震災による東部地区の地盤沈下に伴う浸水被害の拡大に対し、復旧事業での原形復旧だけでは十分な排水機能の確保がなされないため、新たな幹線排水路の整備を行うもの。</p> <p>【工業団地の被災状況】 全建物棟数：685、全壊：280、大規模半壊：149、半壊：252、一部破壊：4</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>						
関連する災害復旧事業の概要						
被災を受けた河川 (五間堀川、貞山堀川) の復旧事業						

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

岩沼市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	11	事業名	矢野目排水機場新設整備事業	事業番号	D-21-6
交付団体	市	事業実施主体 (直接/間接)	岩沼市 (直接)		
総交付対象事業費	3,742,420 (千円)	全体事業費	5,529,920 (千円)		
事業概要					
<p>この事業は、岩沼市震災復興計画における 7 つのリーディングプロジェクトの一つである「津波からの安全なまちづくり」に位置付けられており、当該事業では、地震に伴う地盤沈下により既存の工業団地や集落の排水機能が損なわれ、また、既存工場の大半が当該地での再建を検討していることから、自然排水での排水が困難であるため、排水路整備に合せた排水機場新設整備を行う。</p> <p>&lt;全体事業費増額の理由・内訳&gt;</p> <p>資材物価・人件費の高騰 (約 190 百万円)、津波対策工事・仮設工法変更の必要性 (約 418 百万円)、消費税増税の影響 (約 152 百万円) 計 760 百万円</p> <p>排水機場新設整備 1 箇所</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					
<p>&lt;平成 24 年度&gt;</p> <p>・現地調査測量のほか、実施設計を行う。</p> <p>&lt;平成 25 年度～平成 27 年度&gt;</p> <p>・用地買収及び工事を実施。</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>震災による東部地区の地盤沈下に伴う浸水被害の拡大に対し、復旧事業での原形復旧だけでは十分な排水機能の確保がなされないため、新たな排水機場の新設整備を行うもの。</p> <p>【工業団地の被災状況】 全建物棟数：685、全壊：280、大規模半壊：149、半壊：252、一部損壊：4</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
被災を受けた河川 (五間堀川、貞山堀川) の復旧事業					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

岩沼市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	15	事業名	玉浦西部防災集団移転促進事業（整備事業）	事業番号	D-23-1
交付団体	市	事業実施主体（直接/間接）	岩沼市（直接）		
総交付対象事業費	15,214,650（千円）	全体事業費	15,214,650（千円）		
事業概要					
<p>この事業は、岩沼市震災復興計画における 7 つのリーディングプロジェクトの一つである「津波からの安全なまちづくり」に位置付けられており、甚大な津波被害を受けた沿岸 6 集落について、住民の意向を十分に踏まえつつ、これまでのコミュニティを保ちながら防災集団移転を行う。</p> <p>&lt;増額理由&gt;</p> <p>造成工事に要する盛土材を搬入した角田市に所在する土取り場へ通ずる角田市道について、復興事業による損傷が激しいことから、防災集団移転促進事業における 1 号経費を活用して、当該道路を通過した搬入車両の通行量比率（本市 26%）に応じて修繕に要する費用を負担することとなったため、2,860 千円を増額するもの。</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					
<p>&lt;平成 25 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・造成工事、公共施設確認、引き渡し等</li></ul> <p>* なお、今回増額の角田市の道路補修については、費用負担のみを行い、岩沼市が工事を実施するものではない</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>防災集団移転を行う沿岸 6 集落は、今次の津波により、多くの死者と大半の家屋が滅失するなど壊滅的な被害が生じており、海岸に隣接した場所に集落が所在していることから、生活再建に当たっては、津波被害が軽減される地に移転をするもの。</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

岩沼市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	25	事業名	市道相野釜線整備事業	事業番号	D-1-5
交付団体	市	事業実施主体 (直接/間接)	岩沼市 (直接)		
総交付対象事業費	3,771,641 (千円)	全体事業費	4,493,516 (千円)		

事業概要

この事業は、岩沼市震災復興計画における 7 つのリーディングプロジェクトの一つである「津波からの安全なまちづくり」に位置付けられており、市道空港三軒茶屋線整備事業による道路整備にあわせ、道路通行の安全性等の一層の向上を図るため、沿岸地区から避難路幹線道路に接続させる道路を整備する。(災害時避難路利用者、臨空工業団地事業者等、農業従事者、仙台空港利用者及び関係者、沿岸部公園等利用者等)

また、本路線は、多重防御施設としての道路整備に位置づけている路線である。

本市の多重防御は、海岸堤防が 1 次防御、公園・貞山堀と本路線を含めた嵩上げ道路を次の防御ラインと考え、先の震災と同程度の津波が発生した場合でも、本道路西側においては浸水高 2 m 未満となる見込みである。なお、2 次防御ラインの東側は非居住区域とする計画である。

本路線の西側には、仙台空港臨空工業団地、矢野目地区の既存市街地が存在し、それらを守るため、整備するものである。

<増額の理由>

詳細設計の過程で地盤が軟弱なことが判明し対策工事が必要性が判明したため、26 年度事業費において不足が見込まれる約 73 百万円を今回申請する。

・現況なし ・整備幅員 11.5m (新設整備 2,724m) ・現地盤から 2~3 m 嵩上げ (TP 5m まで)

※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください

当面の事業概要

<平成 26 年度~平成 27 年度>

・用地買収及び工事を実施。

東日本大震災の被害との関係

津波災害により市道相野釜線が通行に支障をきたす被害が生じただけでなく、仙台空港や周辺住宅に全壊等の甚大な被害が生じている。また、同市道は、津波被害後も数日間冠水したため、被害者の救助および捜索に支障をきたした。さらに、沿岸地区住民の避難場所となった小・中学校へ避難途中で津波に遭遇し、被災している。

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	



(様式 1-3)

岩沼市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	38	事業名	道路整備促進事業 (工事監督支援業務)	事業番号	◆D-1-1-1
交付団体	市	事業実施主体 (直接/間接)	岩沼市 (直接)		
総交付対象事業費	88,000 (千円)	全体事業費	133,000 (千円)		
事業概要					
<p>この事業は、岩沼市震災復興計画における 7 つのリーディングプロジェクトの一つである「津波からの安全なまちづくり」に位置付けられている、沿岸地区から避難する車両および歩行者を市中央部へ安全に避難させるため、避難路ネットワークとしての道路整備を行うための、工事監督支援を行う。</p> <p>(工事目的物の寸法、位置、使用する材料の材質等についての適否の確認及び監督員への報告、工事施工業者から提出される材料と現場状況の照合、並びに設計変更協議用資料の作成等監督補助を行うものであり、監督職員を支援し、工事の円滑な履行及び品質確保を図る。)</p>					
当面の事業概要					
<p>&lt;平成 25 年度～平成 27 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・道路工 実施積算・工事監理・変更積算</li><li>・橋梁工 実施積算・工事監理・変更積算<ul style="list-style-type: none"><li>・相野釜線 L=2,724m W=11.5m 橋梁 2 箇所</li><li>・空港三軒茶屋線 L=3,736m W=11.5m</li><li>・空港三軒茶屋線延伸部 L=848m W=11.5m</li><li>・藤曾根線 L=773m W=11.5m</li><li>・寺島海岸線 L=1,197m W=11.5m 橋梁 1 箇所</li><li>・本町早股線 L=2,232m W=3.5m</li></ul></li></ul>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>3 月 11 日の津波襲来時、沿岸地区住民等が市中央地区への避難中に津波に遭遇し被災を受けている。また、津波被害後も数日間冠水したため、被害者の救助および捜索に支障をきたした。</p> <p>避難路ネットワークとしての道路整備を早急および円滑に実施するため、工事監督支援の業務が必要不可欠である。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	D-1-1・D-1-2・D-1-3・D-1-4・D-1-5・D-1-6
事業名	相野釜線・空港三軒茶屋線・延伸部・藤曾根線・寺島海岸線・本町早股線整備事業
交付団体	岩沼市
基幹事業との関連性	
<p>基幹事業となっている 6 路線の整備事業に係る、工事監督の支援する事により、事業の品質と円滑な完了を図る。</p> <p>(契約の履行に必要な資料の作成、施工状況の照合、安全施設等の確認、関係機関との協議調整の資料作成、検査等の立会い、その他の事案の対応・報告等監督補助を行うものであり、監督職員を支援し、工事の円滑な履行及び品質確保を図る。)</p>	

(様式 1-3)

岩沼市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	44	事業名	千年希望の丘防災公園整備事業（工事監督支援業務）	事業番号	◆D-22-3-1
交付団体	市	事業実施主体（直接/間接）	岩沼市（直接）		
総交付対象事業費	3,250（千円）	全体事業費	3,250（千円）		
事業概要					
<p>この事業は、平成 26 年度に千年希望の丘防災公園（二野倉地区）を整備することとしているが、復興事業の推進等に伴う膨大な業務量と比較して職員数が不足していることから、工事監督支援業務委託を行うもの。</p> <p>平成 26 年度整備内容 全体面積 9.5ha、避難丘 2 基、園路 400m、公園施設 7.4ha</p>					
当面の事業概要					
<p>&lt;平成 26 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>千年希望の丘防災公園（二野倉地区）整備に係る工事監督支援</li></ul>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災に伴う被害状況等を勘案して同程度の津波が生じた際に、沿岸部から内陸への避難が困難であった者が一次避難場所として活用する丘を整備するとともに、必要な園路及び広場等の整備を行うこととしているが、復興事業等に伴う業務量増大と比較して不足している人員を補うため、工事監督支援業務委託が必要である。</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	D-22-3
事業名	千年希望の丘防災公園整備事業（整備事業）
交付団体	岩沼市
基幹事業との関連性	
<p>千年希望の丘防災公園整備について当該事業を実施することにより、円滑、かつ、適正な事業完了を図るもの。</p>	